

## 第 8 回 茨城県少子化対策審議会 開催結果について

- 1 日 時 令和元年 7 月 9 日（火） 13：30～15：00
- 2 場 所 県庁 5 階庁議室
- 3 出席者 審議会委員 17 名（欠席 1 名），臨時委員 4 名（欠席 1 名）  
事務局（県）海老原子ども政策局長，滝少子化対策課長  
萩本子ども未来課長，下山田青少年課長，中林副参事 ほか

### 4 結 果

番号	事項	結果
議案 1 号	茨城県少子化対策審議会運営要綱の一部改正（案）について	原案のとおり決定
議案 2 号	部会に属すべき委員の指名（新計画策定部会）	原案のとおり決定
議事(1) 議事(2)	少子化をめぐる現状について 茨城県次世代育成プラン（仮称）の策定について  ※当該プラン策定に係る県から審議会への諮問については別途会議冒頭に説明	・審議会資料 1 及び 2 による事務局説明の後，審議を実施したところ，各委員より当該プラン策定に係る視点などについて活発に意見発言あり。 ・今回の意見を踏まえ，事務局において案を作成し，新計画策定部会での審議を経て次回審議会に示す予定。
議事(3)	「大好きいばらき次世代育成プラン」平成 30 年度実施状況評価について	・審議会資料 3 による事務局説明の後，審議を実施したところ，特に修正等はなく了承された。

### 5 委員の発言要旨（主なもの）

- 直接は書けないとしても家事・子育ての外注化とか・・・外注化だと言葉に語弊があるかもしれないが，地域とか他者に子育てを担ってもらおうという視点を持つべきだと考えている。
- 中間所得層の多数が，かつてに比べると稼げなくなっている。男性も家事育児をシェアする感覚が，一層必要であると思う。
- 県の結婚支援センターというのはどこでもそうだが，プライバシーに配慮するあまり，静かで奥まっていて雰囲気が入りにくい。時代が変わってきているので，思い切って全国に先駆けてイノベーションし，カフェのように

気軽に入りやすいセンターにするとか、検討する時期ではないかと感じている。

- 独身の若者は結婚支援センターへ来所すること自体にハードルを感じると思う。アプリ化して家にいながらマッチングするシステムがいいと思う。
- 茨城県の子育て世代の無業の妻の割合は福井県などと比較すると高い。この辺りは働く男女の意識や若い人達の意識を変える必要があると思う。会社に情報提供して啓発するだけではなく、若い人たちへの啓発も必要だと思う。
- 不妊治療への支援の拡充、不妊治療と仕事の両立支援は、本当に力を入れてやっていただきたいと思う。他県が茨城県を見習うくらいにする必要があるのではと思う。
- 茨城県では大きな病院でばかりではなくて、診療所で出産する人たちが半分ぐらいいる。医師の高齢化が進む中、10年同じ体制を整えられるのが問題。1～2人の医師が24時間体制をとるのはこれから困難になると思うので集約化など体制づくりをよろしくお願いしたい。
- 最近色んな事件が起きて母親としてもすごく不安。保育園に預けたものの事故に巻き込まれるんじゃないかと。そういった不安に対する対策・方針が、うまく打ち出されると、母親としても安心できると思った。